

経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県 丹波医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	27	対象	ド透訓ガ	救臨が感へ災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
5,426,863	26,679	-	第2種該当	7：1

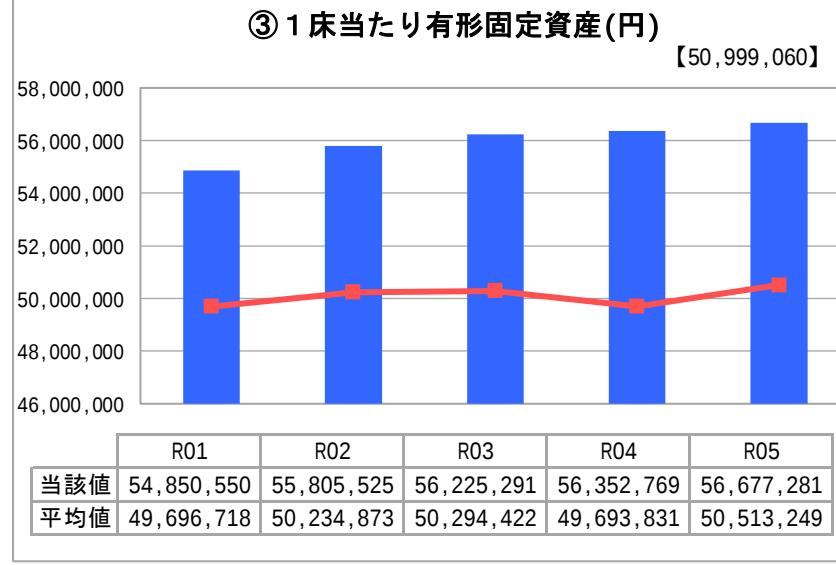
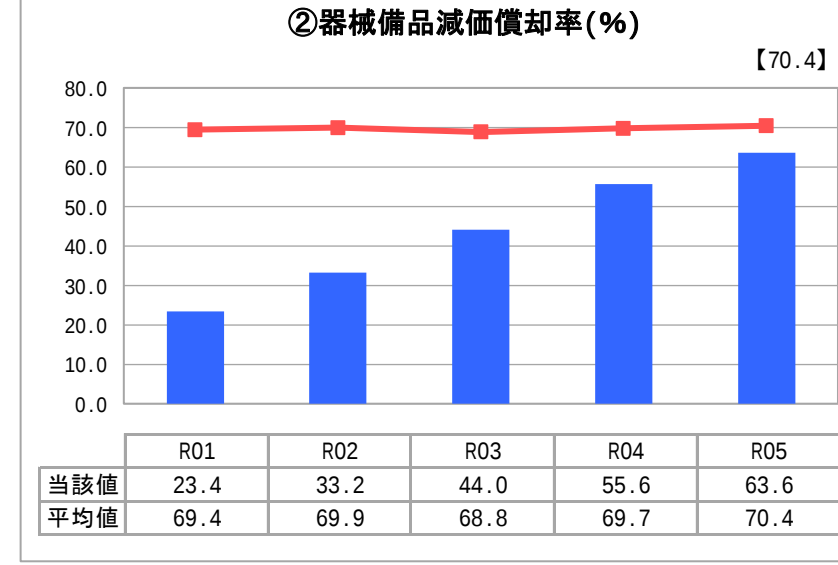
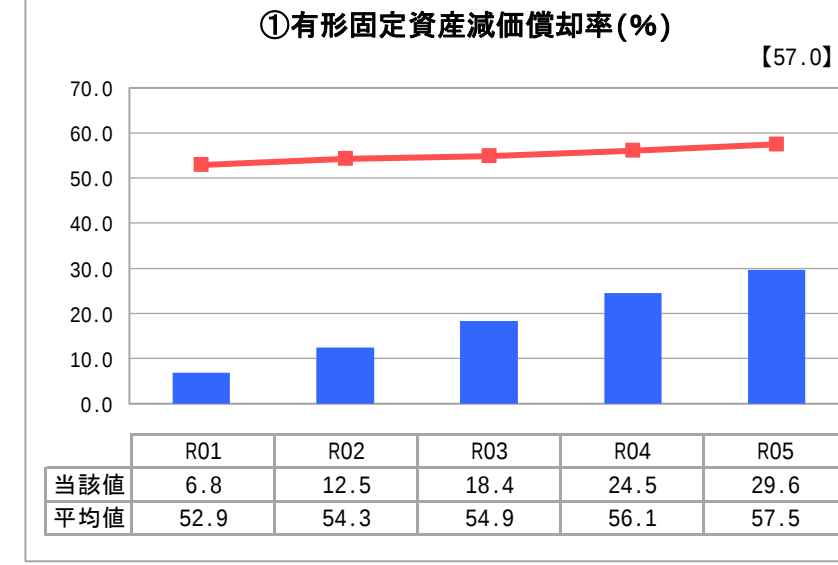
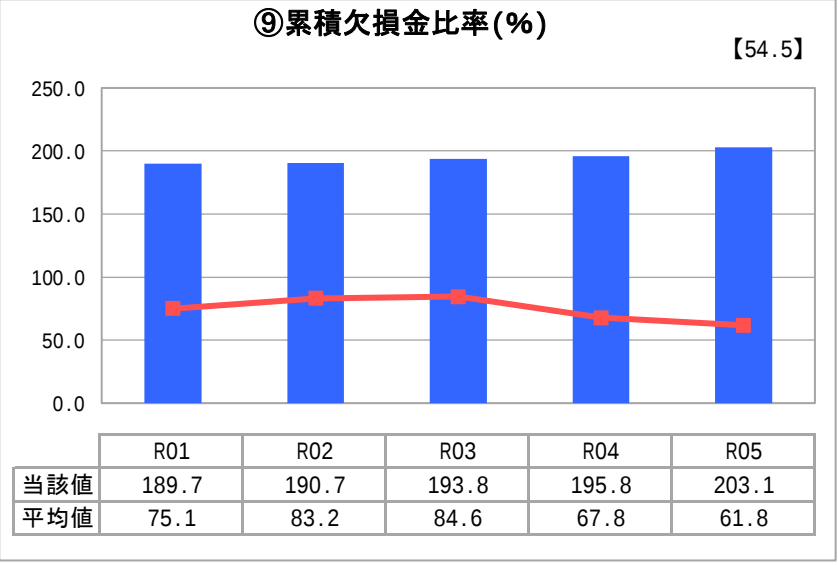
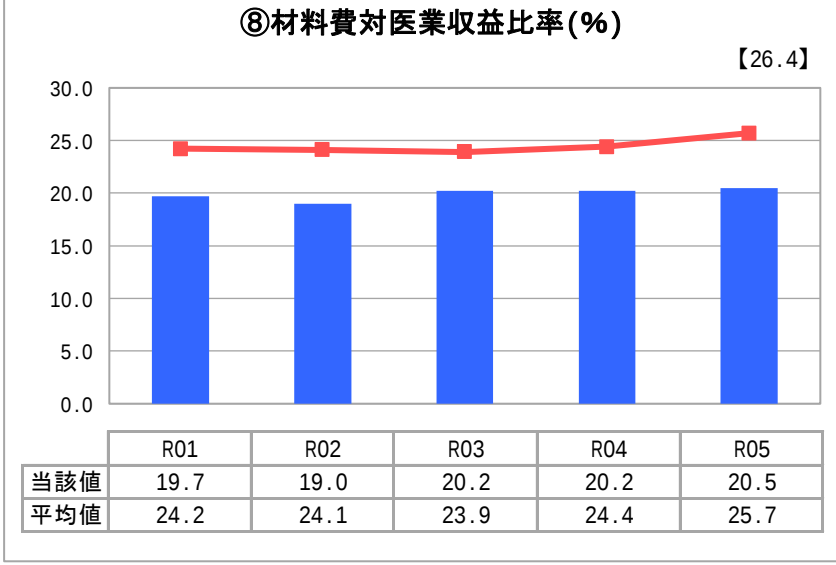
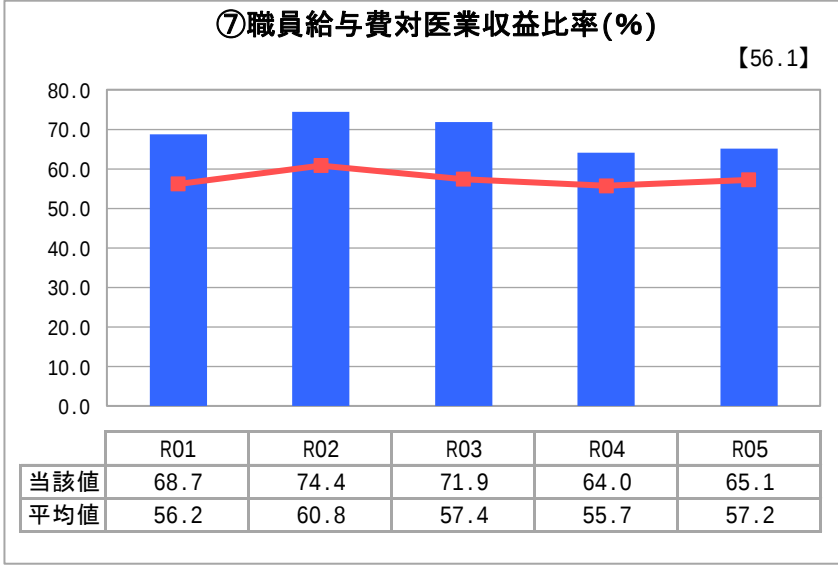
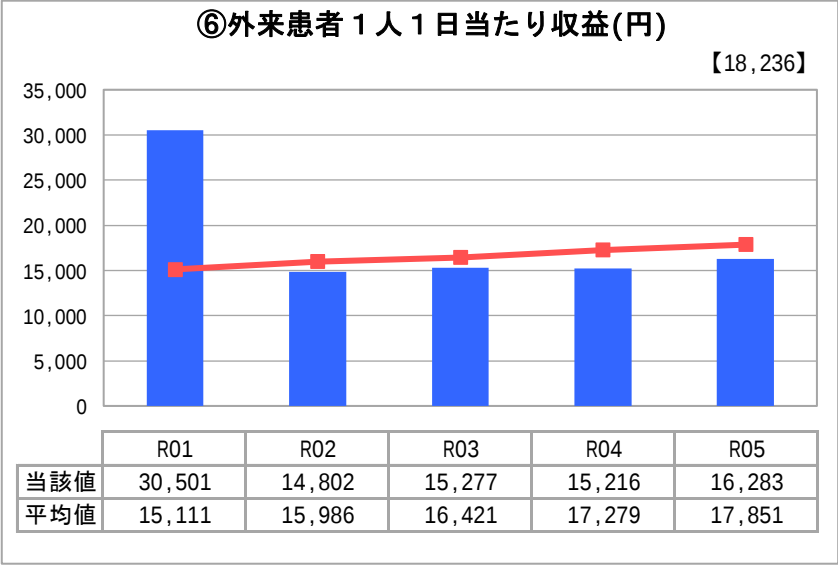
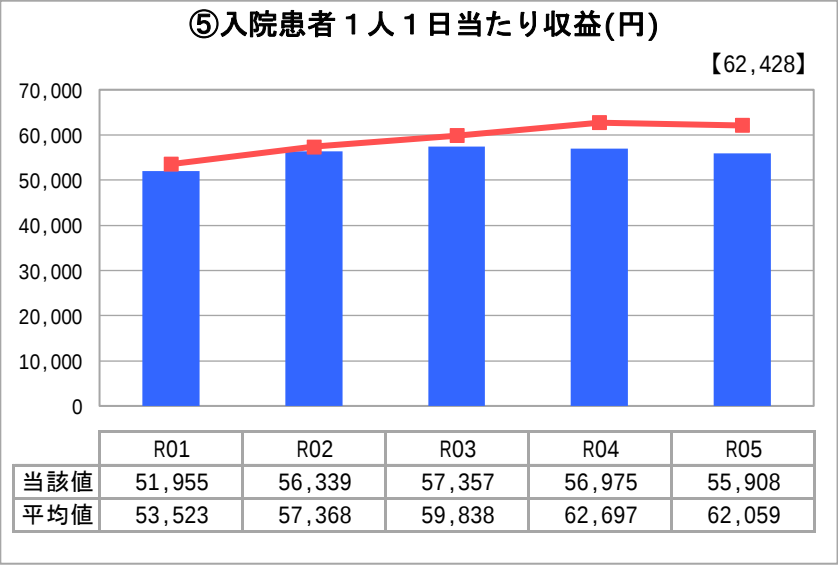
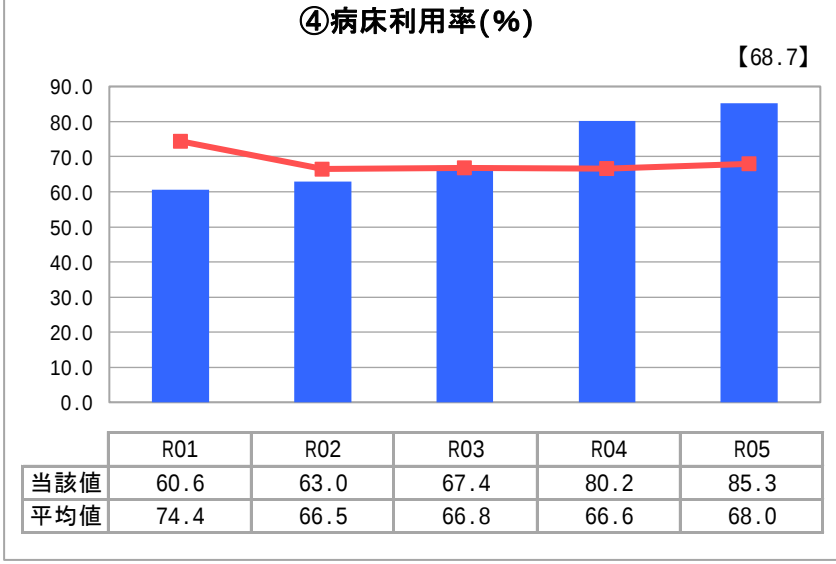
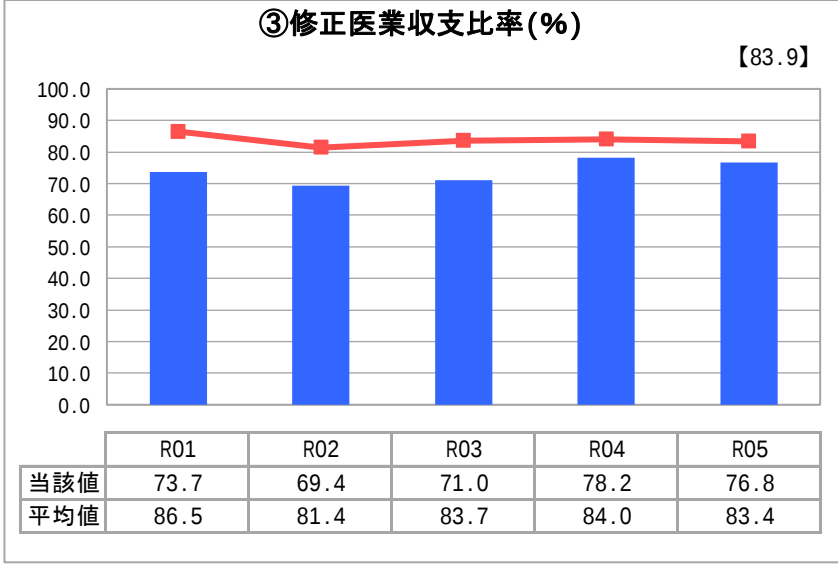
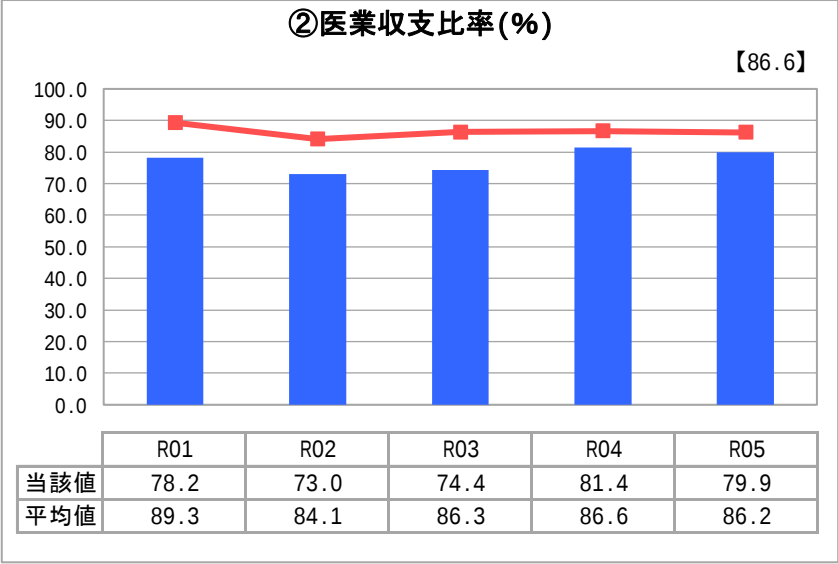
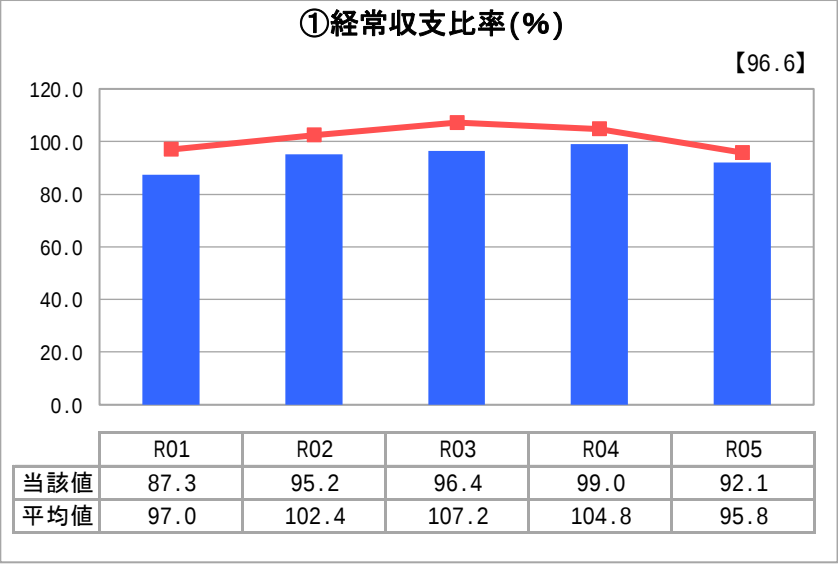
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
316	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	320
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
316	-	316

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の再編・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

丹波圏域の中核病院として、小児医療、周産期医療の拠点病院としての役割を担うとともに、救急診療や急性期医療、消化器、循環器をはじめとする専門医療のみならず、地域包括ケア、回復期リハビリテーションなど地域密着型の医療も提供している。また、圏域の救急医療の中核病院として、2次を中心に、3次的機能病院としての役割も果たしている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和元年7月1日の開院以来、患者数は基本的には段階的に増加しており、収益も年々増加している。一方、職員給与費対医業収益比率は全国平均を上回っており、また近年の物価高による材料費、経費等の増加、減価償却費の負担が収益の増加を上回っている状況である。

2. 老朽化の状況について

令和元年7月1日開院のため、有形固定資産減価償却率は全国平均を下回っている。器械備品減価償却率は全国平均を下回っているが、年々増加している。旧病院から移設して使用している器械の老朽化に加え、開院に合わせて更新した多くの器械も耐用年数が近づいており、計画的な更新が必要である。

全体総括

救急患者の受入れ促進、令和4年度にオープンした回復期リハビリテーション病棟の安定稼働などに取り組んだことにより、医業収益は増加した。しかしながら、材料費、経費等の増加、新型コロナウイルス感染症対策関連補助金の減少を補うまでには至らず、経常損益は前年度よりも悪化した。引き続き、救急患者の受入促進、地域医療連携の強化などに取り組む収益を確保するとともに、費用の抑制に努め、経営の安定化に努める。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。